

写


受理番号	請願第1号
受理年月日	令和5年8月16日

請 願 書






2023年8月16日

2050年CO₂（二酸化炭素）実質排出量ゼロを目指す旨を、
二宮町が表明する（ゼロカーボンシティ宣言）ことを求める請願

二宮町議会議長 根岸 ゆき子 様

請願者 住所 二宮町富士見ヶ丘
1-21-6
氏名 福井 浩 

紹介議員

議員氏名	古 谷 健 司 
同	小 林 幸 子 
同	岡 田 幸 次 郎 
同	一 石 洋 子 
同	波 辺 訓 任 

近年、酷暑や集中豪雨など気候変動の影響は普段の身近な生活にまで及び、世界全体が危機的状況になっている。このような状況のなか今年の5月14日、二宮町は町民と行政が一丸となってこの問題に取り組むため、「気候非常事態宣言」を表明した。この宣言を意義あるものとするためには、この宣言の後に続く計画がなければならない。

「地球温暖化対策の推進に関する法律」では、都道府県及び市町村は、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の削減等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、及び実施するように努めるものとしてされている。こうした制度を踏まえつつ、昨今、脱炭素社会に向けて、CO₂などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成する、いわゆる「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」に取り組むことを表明した地方公共団体は増え続け、2023年6月現在で973自治体にも及んでいる。神奈川県でも26市町村とすでに多くの自治体がカーボンゼロ宣言をおこなっている。よって、二宮町をサステナブルな町にするためにも「気候非常事態宣言」の後に続く計画として、下記のとおり請願する。

記

- 1 2050年CO₂（二酸化炭素）実質排出量ゼロを目指す旨を、二宮町が表明する（ゼロカーボンシティ宣言）こと。
- 2 表明の実行に向けて、二宮町の温室効果ガス削減目標を、2050年までに実質ゼロ、2030年までに現状の半減、2027年までに現状の4分の3とするなど、目標に向けた検討を早急に行うこと。